

# 武蔵国分寺跡資料館だより

Musashi Kokubunji Temple Remains Museum Newsletter

編集・発行・印刷

見る／学ぶ／訪ねる／

武蔵国分寺跡資料館

Musashi Kokubunji Temple Remains Museum

[住所] 〒185-0023 東京都国分寺市西元町1-13-10  
[電話] 042-323-4103 [FAX] 042-300-0091  
[E-mail] museum@city.kokubunji.tokyo.jp  
[HPアドレス]  
http://www.city.kokubunji.tokyo.jp/shisetsu/kouen/1005196/1004239.html

2016.8  
第27号



## Temporary Exhibition



武蔵国分寺跡資料館 平成28年度夏季企画展

## 武蔵国分寺の造営（瓦生産）

- 開館時間 午前9時～午後5時  
(入館は午後4時45分まで)
- 期 間 平成28年7月23日(土)～8月28日(日)
- 会 場 武蔵国分寺跡資料館 講座室
- 入 館 料 「おたかの道湧水園」への入園料が必要
- 休 館 日 月曜日(祝・振替休日の場合は直後の平日)

武蔵国分寺跡は、大正11年(1922)10月12日に国の史跡に指定されました。国分寺市では郷土の歴史を語り継ぐ拠りどころとして、発掘調査と共に歴史公園として整備・活用する事業を進めています。

武蔵国分寺跡は昭和31年(1956)に本格的な発掘調査行われてから、今年で60年を迎えました。本年度の夏季展示では、長きにわたる発掘調査成果のなかから、「武蔵国分寺の造営(瓦生産)」と題して、武蔵国分寺で大量に使用する瓦を生産していた、末野窯跡群(埼玉県寄居町)、南比企窯跡群(埼玉県鳩山町・嵐山町・ときがわ町・東松山市)、東金子窯跡群(埼玉県入間市・狭山市)、南多摩窯跡群(東京都稲城市・八王子市・町田市)の4つ窯跡群に焦点を当てます。武蔵国分寺跡出土資料のほかに、生産地である南比企窯跡群出土の瓦も合わせて展示します。

武蔵国分寺は天平13年(741)の国分寺建立の詔発布後に創建され、9世紀中頃の七重塔再建を中心として伽藍が整備・拡充されます。その前後も補修が繰り返えされますが、出土した瓦の文様や瓦に記された文字、瓦の制作技法などから各時期の瓦生産の状況や、瓦生産からみた国分寺の造営について紹介します。



展示風景



創建期に生産された瓦の展示



武蔵国内の主要窯跡群の紹介



「昆虫標本」＝浜野栄次昆虫コレクション＝出張展示

教育委員会 3 課連携事業（ふるさと文化財課・公民館課・図書館課）

「<sup>はまのえいじ</sup>浜野栄次昆虫コレクション」は、昆虫写真家浜野栄次氏が長年にわたり採集、あるいは入手した昆虫標本のコレクションです。

浜野栄次氏は昆虫生態写真家の草分けとして知られており、国分寺市泉町に 30 年以上住み続けられ、そのご縁により、平成 4 年（1992）に昆虫コレクションを国分寺市に寄贈されました。

このコレクションは日本産の蝶・甲虫類を中心に、外国産の大型昆虫類などの標本がバランスよくそろっているのが大きな特徴で、合計 171 箱の標本箱で構成されています。

このたび夏休み期間限定で、市内の各公民館・図書館で標本を一箱ずつ展示することになりました。今回は子どもたちに人気のカブトムシをはじめとする、日本・アジアなどのコガネムシ科とクワガタムシ科の昆虫を展示します。それぞれの館ごとに様々な種類の昆虫を展示していますので、ぜひ各館をめぐってみてください。

**展示期間：**平成 28 年 8 月 10 日（水）～8 月 31 日（水）

**展示会場：**武蔵国分寺跡資料館・本多図書館・本多公民館・恋ヶ窪図書館・恋ヶ窪公民館・並木図書館・並木公民館・もとまち図書館・もとまち公民館・光図書館・光公民館

※休館日については、それぞれの施設にご確認をお願いします。



オニツヤクワガタほか標本箱



カブトムシ（日本）標本箱

INFORMATION

スタンプラリーを開催します（小・中学生限定）

出張展示にあわせて昆虫標本スタンプラリーを開催します。公民館と図書館にあるスタンプを 4 個以上集めると、武蔵国分寺跡資料館で素敵なプレゼントと交換できます。プレゼントの交換は先着 100 名のみとなりますので、ふるってご参加ください。

■交換場所 武蔵国分寺跡資料館 受付

■交換期間 平成 28 年 8 月 16 日（火）～9 月 4 日（日）（月曜日は休館日となります。）

※午前 9 時～午後 5 時（入場は午後 4 時 45 分まで）

来館者数

2009 年 10 月 18 日～2016 年 6 月末日

来館者数累計 98,607 名

多くのご来館ありがとうございました

月	来館者数	開館日数
4	747	26
5	1,637	26
6	398	26
計	2,782	78

【4 月～6 月の学校見学】

〔学年〕（人数）院＝大学院生

<市内>

第 1 小学校〔6〕（50 名）、第 4 小学校〔6〕（117 名）、第 4 小学校双葉学級〔3, 4, 5, 6〕（13 名）、第 6 小学校〔6〕（112 名）、第 9 小学校〔6〕（67 名）、第 10 小学校〔6〕（55 名）

<市外>

小金井第 4 小学校〔6〕（95 名）、成蹊小学校〔6〕（126 名）、府中第 7 中学校〔1〕（6 名）、東京学芸大学〔2, 3, 4, 院〕（35 名）、都立府中高等学校〔3〕（21 名）、国士館大学〔1, 2, 3〕（42 名）

○来館者数は、おたかの道湧水園の入園者数



**銅製の鈴** 武蔵国分寺跡では、銅製の鈴が第8次調査地区のS197 住居跡から出土しています。形は少し平たくなっていて、鈴部分の周囲は約5.1センチメートルの長さです。鈴の中には鉄製の丸が入れられ、澄んだ音色を出します。この資料がどのような場所でどのように使用されていたのかはわかりません。儀礼的な装飾品であったのかもしれませんが、鈴は古くから呪術的な力があると考えられ、音により悪霊を防ぐお守りとして利用され、あるいは神呼びのときに使用されました。非日常性の音が重視されたのですが、そのような音を今に響かせることができる貴重な資料です。



銅製の鈴

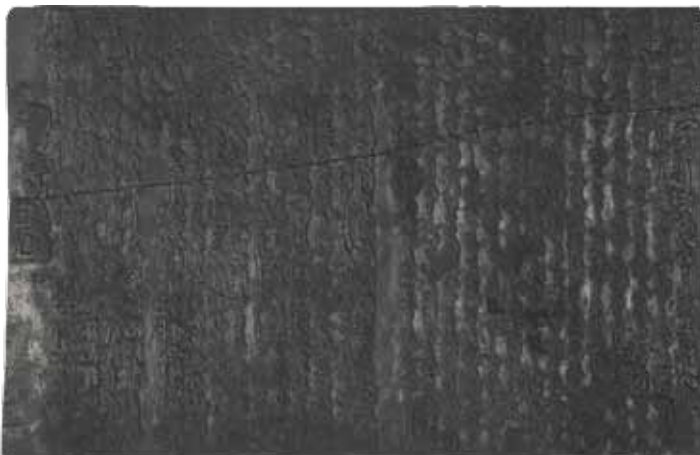
**醫王山縁起** 「醫王山縁起」(建武二年(1335)七月)には真姿の池伝承が記載されている部分があります。その原文を引用してみます。

嘉祥元年戊辰玉造の小町いひやうをくるしみ 当地にきたり三七日やくしのはうぜんにいのる 然るに童子一人こつぜんと来り病女をいさない 池のほとりにいたり此いけ水にてあらふべしといふて童子たちまち見へす しはらく過て宮の中におんがくの響をきく 不口(日カ)にてらいひやういゑて本の姿となる 是により此池を真姿のいけといふ

意識すると次のようになります。「嘉祥元年(848)、玉造の小町が重い病に苦しみ、当地に来て、二十一日間、薬師様にお祈りしたところ、一人の童子が突然にあらわれた。童子は小町を池のあたりまで招き、「この池の水で身体を洗いなさい」と言い伝えて消えた。しばらくしてお宮の中から音楽の響きが聞こえてきた。数日後、小町の重い病は治り、真の姿に戻った。このことからこの池は真姿の池と呼ばれるようになった」

真姿の池の名のいわれが記されたこの霊験話で、治療方法を伝えた童子が消えた後にお宮から響いてきた「音楽」とは、どのような音色だったのでしょうか。残念ながらその音色を知る由もありませんが、現在、真姿の池にある祠には、一般に音楽の神様(芸能の神様)・水的神様・養蚕の神様として人々に信仰された弁天様が祀られ、池の脇に流れ出る湧水のせせらぎは、涼やかな音色を奏でています。

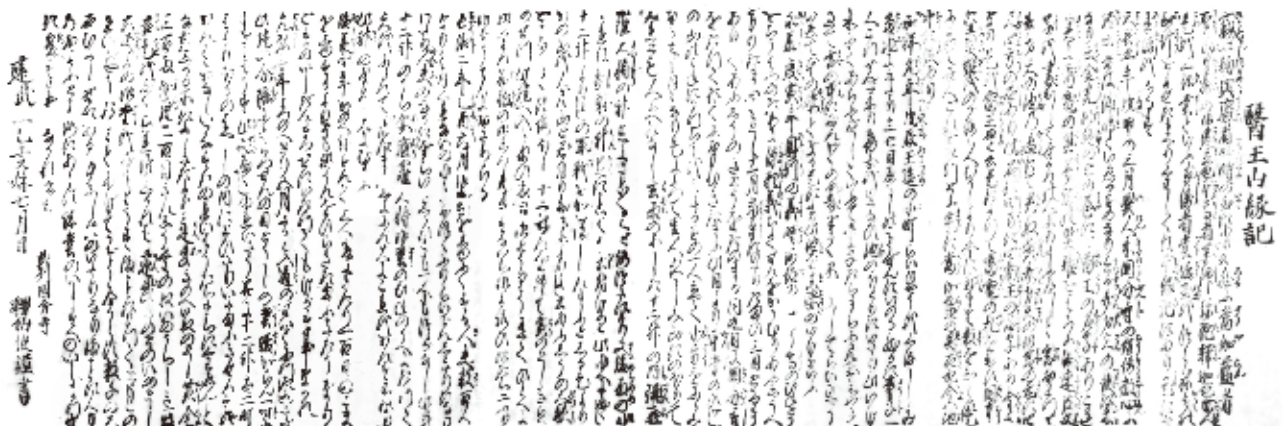
(米村 創)



醫王山縁起(版木・部分 国分寺所蔵)



弁天様が祀られる真姿の池



醫王山縁起(版木を刷ったもの 国分寺所蔵)

※銅製の鈴と醫王山縁起は武蔵国分寺跡資料館にて展示中です。

# INFORMATION

平成 28 年度 8 月以降の国分寺市文化財普及事業の予定は以下の表のとおりです。

月	日(曜日)	行 事
8	5日(金)	○ふるさと文化財愛護ボランティア養成講座 ④ [国分寺市の歴史と文化財3 中世・近世の国分寺市]
	10日(水)	●市内公民館・図書館出張展示「浜野栄次 昆虫コレクション&スタンプラリー」(8月31日まで)
	19日(金)	○ふるさと文化財愛護ボランティア養成講座 ⑤ [文化財普及の目的と方法]
	28日(日)	●夏季企画展最終日
	31日(水)	●市内公民館・図書館出張展示「浜野栄次 昆虫コレクション」最終日
9	2日(金)	○ふるさと文化財愛護ボランティア養成講座 ⑥ [国分寺市の文化財保護と調査]
	4日(日)	●市内公民館・図書館出張展示「浜野栄次 昆虫コレクション&スタンプラリー」景品引き渡し終了
	9日(金)	○ふるさと文化財愛護ボランティア養成講座 ⑦ [ボランティア認定式]
10	1日(土)	東京文化財ウィーク2016 企画事業(11月30日(火)まで)
	10日(土)	●市内文化財めぐり(定員30名、事前申込制)
	18日(日)	●おたかの道湧水園無料公開(おたかの道湧水園開園記念日)
	31日(月)	教育7DAYS開始
11	6日(日)	国分寺まつり 史跡ガイドボランティア 現地解説(僧寺金堂跡, 真姿の池, ほか), 石器レプリカ作成(予定) ●おたかの道湧水園無料公開 教育7DAYS終了
	12日(土)	●秋季企画展(12月25日まで)(予定)
	19日(土)	●市外文化財めぐり(上野国分寺跡ほか, 定員45名, 事前申込制)(予定) ぶんぶんウォーク
	23日(水)	●おたかの道湧水園内歴史的建造物保存修理工事 長屋門上棟式(予定)
12	10日(土)	●歴史講演会(予定)
	25日(日)	●秋季企画展最終日
1	14日(土)	●冬季企画展(3月12日まで)
	21日(土) 22日(日)	多摩郷土誌フェア(会場:立川市女性センターアイム1階 健康サロン)
	26日(木)	●文化財防火デー 消防訓練(国分寺消防署・国分寺市消防団・ふるさと文化財課その他)
2		
3	12日(日)	●冬季企画展最終日

※記号説明: ●→ふるさと文化財課主催・共催事業, ○→ふるさと文化財愛護ボランティア養成講座, 無印→ふるさと文化財課関連行事  
※内容、日程は変更することがあります。

## 武蔵国分寺跡資料館ご利用案内



■ 交通のご案内 ※駐車場はありません

【電車】JR国分寺駅下車/徒歩約20分 ○JR西国分寺駅下車/徒歩約15分

【バス】○国分寺市循環バス「ぶんバス」日吉町ルート「泉町一丁目」下車/徒歩約8分  
○国分寺駅南口より「京王バス」系統番号(寺83)・(寺85)乗車「泉町一丁目」下車/徒歩約8分

### ■ 開館時間

午前9時～午後5時(入館は午後4時45分まで)

### ■ 休館日

毎週月曜日(祝日・振替休日の場合はその翌日)  
年末年始(12月29日から1月3日まで)  
※展示替えなどで臨時休館することがあります。

### ■ 入園料

資料館に入館するには「おたかの道湧水園」への入園料が必要になります。(入園券は史跡の駅で販売)  
一般……………100円(年間パスポート1,000円)  
中学生以下……………無料

#### 【入園料の減免規則があります】

- 1) 学校の教育活動で生徒(中学生を除く)、学生及び引率の教職員が入園するとき〔事前(5日前まで)に減免申請書の提出が必要です。〕
  - 2) 身体障害者及びその介護者が入園するとき〔発券窓口の史跡の駅で身体障害者手帳等の提示が必要です。〕
  - 3) その他教育長が特別の理由があると認めるとき〔事前(5日前まで)に減免申請書の提出が必要です。〕
- ※減免申請書は、国分寺市のホームページからダウンロードできます。



ホームページQRコード